

## 令和5年台風第6号に関する被害状況等について（第1報）

※ これは速報であり、数値等は今後変わることもあります。

### 1 気象状況 気象庁発表（8/2 6:00）

- 台風第6号は、大型で非常に強い勢力で沖縄本島地方に接近しており、4日にかけて、非常に強い勢力を維持して東シナ海を西北西へ進む。その後、台風の動きは遅くなるため、沖縄地方や奄美地方では台風の影響が長引くおそれがある。
- 台風の影響で、沖縄地方では猛烈な風が吹き、猛烈なしけとなっている。沖縄地方では、3日にかけて猛烈な風が吹き、4日にかけて猛烈にしける。奄美地方でも非常に強い風が吹き、2日は猛烈にしける。
- 台風の接近と大潮の時期が重なるため、沖縄地方や奄美地方では潮位が高くなる。特に、沖縄地方では3日にかけて、高潮や高潮と重なりあった波浪による浸水害が発生するおそれがある。沖縄県南城市では、1日19時42分に過去最高潮位（標高 2.26メートル（速報値））を観測した。
- 台風本体や台風周辺の発達した雨雲により、沖縄地方や奄美地方では雷を伴った非常に激しい雨が降り、6日にかけて大雨となるおそれがある。
- 沖縄地方では、頑丈な建物の中に移動するとともに、屋内では窓から離れるなど暴風に厳重に警戒。沖縄地方や奄美地方では、うねりを伴った高波に厳重に警戒。沖縄地方では、高潮や高潮と重なりあった波浪による浸水に厳重に警戒。土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水や氾濫に警戒、落雷や竜巻などの激しい突風に注意。

### 2 体制等

- 警戒体制：沖縄総合事務局、気象庁
- 注意体制：本省、九州地整、国土地理院

### 3 被害情報等

#### (1) 河川（8/2 6:00 時点）

- ・被害情報なし

#### (2) ダム（8/2 6:30 時点）

- 洪水調節（事前放流を含む）を実施 8 ダム
  - 8 ダムのうち、事前放流の基準に達したダム 8 ダム
    - ・事前放流を実施 2 ダム（うち、利水ダム 0）
    - ・すでに事前放流の容量を確保 6 ダム（うち、利水ダム 1）

※基準降雨量との関係やダムの運用について評価中であり、数値が変更となる場合があります。

### (3) 砂防

○土砂災害（8/2 7:30 時点）

現時点で発生情報無し

○土砂災害警戒情報（8/2 6:30 時点）

1 県 5 市町村に発表（沖縄県）

### (4) 道路（8/2 6:30 時点）

○高速道路

被災による通行止め：なし

雨量基準超過等による通行止め：2 路線 14 区間

E58 沖縄自動車道（那覇 IC～許田 IC）【10 区間】強風

E58 那覇空港自動車道（豊見城・名嘉地 IC～西原 JCT）【4 区間】強風

○有料道路

被災による通行止め：なし

雨量基準超過等による通行止め：なし

○直轄国道

被災による通行止め：なし

雨量基準超過等による通行止め：2 路線 3 区間

国道 58 号（沖縄県宜野湾市～浦添市）：強風

国道 331 号（沖縄県豊見城市）：強風

国道 331 号（沖縄県糸満市）：強風

○補助国道

被災による通行止め：なし

○都道府県道等

被災による通行止め：なし

### (5) 鉄道（8/2 6:30 時点）

<新幹線>

【運転を見合せている路線】：なし

【今後、運転を見合わせる予定の路線】：なし

<在来線>

【運転を見合せている路線】：2 事業者 3 路線

JR九州：日南線、日豊線

沖縄都市モノレール：沖縄都市モノレール線

【今後、運転を見合わせる予定の路線】：なし

### (6) 航空（8/2 6:00 時点）

○運航に支障となる空港施設等の被害情報なし

## ○運航への影響

- 1日 欠航便 476 便 (JAL95 便、ANA124 便、その他 257 便)
- 2日 欠航便 475 便 (JAL97 便、ANA124 便、その他 254 便)

## (7) 海事 (8/2 6:00 時点)

### ○被害状況等

- ・なし

### ○運休状況等

- ・33 事業者 35 航路運休

## (8) 自動車 (8/2 6:00 時点)

### ○運休状況等

- ・高速バス：運休、一部運休なし
- ・路線バス：15 事業者 22 路線運休、一部運休なし
- ・宅配事業者：大手 5 事業者において一部地域で集配遅延等

## (9) その他 (海岸、下水、公園・都市、港湾、物流、観光) 関係の状況

- ・被害情報なし

## 4 国土交通省の対応

### (1) 災害対策本部会議等

#### ○国土交通省災害対策連絡調整会議 (7/31)

### (2) ホットライン構築状況

#### ○沖縄の 41 市町村とホットラインを構築 (沖縄 41)

## 5 気象庁の対応

○気象庁では気象情報等を適時に発表し、報道機関を通じて警戒の呼びかけを実施。

○各地の気象台は、警報等を適時に発表するとともに、JETT (気象庁防災対応支援チーム) の派遣 (のべ 9 人・日) やホットライン等により、警戒を要する自治体等に今後の見通しについて解説を実施。

## 6 海上保安庁の対応 (8/2 6:00 現在)

### (1) 体制等

#### ○非常配備

第十管区海上保安本部 (8 月 1 日～)

第十一管区海上保安本部 (8 月 1 日～)

### (2) 対応状況等

被害情報等認めず

自治体等からの協力要請なし

(3) 航行警報等の発出状況

①航行警報 1件

②海の安全情報 2件

(4) 港湾における避難勧告等の発出状況

①第一体制（警戒勧告） 3港

②第二体制（避難勧告） 7港

③臨海部の施設周辺海域での錨泊制限の状況

7/30 那覇空港

7/30 吉の浦火力発電所

7/30 沖縄石油基地

7/30 沖縄ターミナル

7/31 志布志国家石油備蓄基地

(5) 当庁施設等の被害状況

被害情報等認めず

問合先：水管理・国土保全局防災課災害対策室 小林
代表：03-5253-8111 内線35-822
直通：03-5253-8461